



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 エレコム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6750 URL <http://www.elecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 昌樹

TEL 06-6229-2707

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日

配当支払開始予定日

2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 51,669 | 0.0 | 6,055 | 13.4 | 6,110 | 13.0 | 4,371 | 7.8 |
| 2022年3月期第2四半期 | 51,659 | 2.5 | 6,989 | 7.4 | 7,025 | 7.3 | 4,740 | 9.4 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 9,535百万円 (99.9%) 2022年3月期第2四半期 4,770百万円 (1.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 50.87 | 50.86 |
| 2022年3月期第2四半期 | 52.04 | 51.93 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 112,731 | 84,117 | 74.4 | 992.54 |
| 2022年3月期 | 110,621 | 81,401 | 73.4 | 923.89 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 83,898百万円 2022年3月期 81,154百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 19.00 | | 18.00 | 37.00 |
| 2023年3月期 | | 20.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2022年11月8日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当・増配)及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 111,600 | 4.0 | 13,600 | 2.5 | 13,700 | 4.9 | 9,450 | 9.1 | 107.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期2Q | 92,221,420 株 | 2022年3月期 | 92,221,420 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 7,692,962 株 | 2022年3月期 | 4,381,162 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期2Q | 85,933,572 株 | 2022年3月期2Q | 91,084,387 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

なお、決算説明資料は2022年11月8日付で当社ホームページ(<http://www.elecom.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (会計上の見積りの変更) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は51,669百万円(前年同四半期比0.0%増)、売上総利益は19,349百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益は6,055百万円(前年同四半期比13.4%減)、経常利益は6,110百万円(前年同四半期比13.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,371百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。

売上高は、グループ会社のハギワラソリューションズ株の産業機器向けのストレージの需要が堅調に推移したことやECにおいてスマートフォン向け的高速充電器などの戦略的な拡販も見られましたが、一部製品群の販売戦略見直しや引き続きパソコン周辺機器やTV・AV関連機器の需要が一服した影響もあり、前年同四半期と同水準となりました。

売上総利益は、海外から米ドルで製品を調達する弊社にとっては、前年同四半期に比して円安が進行し円換算額の原価上昇に大きな影響を与えました。また、昨今の半導体不足及び資源高騰により、弊社の製品群であるパソコン及びデジタル関連製品の原価が大きく上昇しました。8月以降、値上げ及び新製品の価格見直しに取り組んでおり、一部効果がみられておりますが、第1四半期に売上総利益が前年同四半期を下回った影響が大きく減少しました。

営業利益は、開発部門を中心に積極的に人材採用を進め人件費が増加したこと及び兵庫物流センターの減価償却費が増加したことにより、販売管理費及び一般管理費が前年同四半期に比べて増加したことにより、減少しました。

経常利益は、急激な円安の進行による弊社の保有するドル資産に係る為替差益が発生したこと等により、営業外収益が増加した一方で、営業利益段階までで減少した影響が大きく、減少しました。

品目別の概況は、次のとおりであります。なお、当社グループはパソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、商品区分である品目別で概況を記載しております。

(パソコン関連)

eスポーツ向けの製品の投入やECを中心に電源タップなどを戦略的に販売したものの、パソコン本体の出荷台数が低調に推移したこともあり、パソコン周辺機器も低調に推移しました。

これらの結果、パソコン関連に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、14,295百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

(スマートフォン・タブレット関連)

当第2四半期連結会計期間中に発売された販売台数が減少したことによるケースやフィルムを中心としたアクセサリ類の販売が落ち込みましたが、ECにおいて高速充電に対応したAC充電器を中心に戦略的な拡販を行いました。

これらの結果、スマートフォン・タブレット関連に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,915百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

(TV・AV関連)

ヘッドセットマイクやAVケーブル関連の需要が一服し、TV・AV関連に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,551百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。

(周辺機器)

グループ会社であるハギワラソリューションズ株の売上高が好調であり、ネットワーク関連製品の半導体の需給改善による調達環境正常化に伴い、法人販路での売上高が好調でした。

これらの結果、周辺機器に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、15,264百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。

(その他)

グループ会社であるロジテックINAソリューションズ株のカスタムPC及びタブレットが堅調に推移し、新製品であるアルコールチェッカーの投入もありました。

これらの結果、その他に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,642百万円(前年同四半期比5.8%増)となりました。

〔品目別連結売上高実績〕

(単位：百万円、%)

| 品目区分 | 2022年3月期第2四半期 | | 2023年3月期第2四半期 | | 前期比 増減率 |
|-----------------|---------------|-------|---------------|-------|------------|
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | |
| パソコン関連 | 14,902 | 28.9 | 14,295 | 27.7 | △4.1 |
| スマートフォン・タブレット関連 | 9,489 | 18.4 | 9,915 | 19.2 | 4.5 |
| TV・AV関連 | 9,299 | 18.0 | 8,551 | 16.6 | △8.0 |
| 周辺機器 | 14,524 | 28.1 | 15,264 | 29.5 | 5.1 |
| その他 | 3,443 | 6.7 | 3,642 | 7.0 | 5.8 |
| 合計 | 51,659 | 100.0 | 51,669 | 100.0 | 0.0 |

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,109百万円増加し、負債は606百万円減少、純資産は2,715百万円増加となりました。

総資産は、以下の要因により前連結会計年度末に比して2,109百万円の増加となりました。

<増加要因>

有価証券：ドル建て資産が円価額換算で増加しました。

商品及び製品：半導体不足の影響から機会損失を避ける為、商品仕入が先行した結果増加しました。

その他流動資産：為替予約の追加取得を進めた上に、円安の進行により増加しました。

有形固定資産：兵庫物流センターの設備の取得及び湘南研修所の取得により増加しました。

<減少要因>

現金及び預金：法人税の支払い及び兵庫物流センター及び湘南研修所の取得代金の支払いにより減少しました。

受取手形及び売掛金：例年、第2四半期は第4四半期に比して売上が少ないことから減少しております。

預け金：自己株式の取得に係る証券会社への預け金が自己株式の取得の進行に伴い減少しました。

負債は、設備関係の未払金が減少しました。

純資産は、円安の進行に伴い繰延ヘッジ損益が増加した一方で、2022年8月まで実施しておりました、自己株式の買い付けにより株主資本の減少が見られました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下の通りです。

営業活動の結果増加した資金は1,510百万円となりました。(前年同四半期は3,331百万円の収入)前年同四半期に比して、為替差益及び運転資本が増加し、収入が減少しました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費です。

投資活動の結果減少した資金は4,496百万円となりました。(前年同四半期は1,575百万円の支出)主な支出は、兵庫物流センターの設備及び湘南研修所の土地・建物の支払いによるものです。

財務活動の結果減少した資金は1,570百万円となりました。(前年同四半期は7,410百万円の支出)、前年同四半期は、自己株式の取得に関する預け金が増加(資金の支出)しましたが、当四半期連結累計期間においては自己株式の取得を進め当該預け金が減少しました。主な支出は、配当金の支払いによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ3,753百万円減少し、38,329百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日付「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 42,082 | 38,329 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,763 | 17,507 |
| 有価証券 | 12,380 | 14,755 |
| 商品及び製品 | 10,376 | 13,132 |
| 仕掛品 | 124 | 216 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,067 | 2,281 |
| 返品資産 | 547 | 521 |
| 預け金 | 5,240 | — |
| その他 | 5,520 | 11,610 |
| 貸倒引当金 | △5 | △5 |
| 流動資産合計 | 97,097 | 98,349 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 8,065 | 9,718 |
| 無形固定資産 | 1,918 | 1,907 |
| 投資その他の資産 | 3,540 | 2,756 |
| 固定資産合計 | 13,523 | 14,381 |
| 資産合計 | 110,621 | 112,731 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,364 | 14,086 |
| 電子記録債務 | 3,766 | 3,127 |
| 短期借入金 | 500 | 500 |
| 未払法人税等 | 1,757 | 1,678 |
| 返金負債 | 1,565 | 1,416 |
| その他の引当金 | 1,025 | 923 |
| その他 | 5,112 | 3,620 |
| 流動負債合計 | 27,092 | 25,353 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,712 | 1,762 |
| 役員退職慰労引当金 | 19 | 21 |
| その他 | 396 | 1,476 |
| 固定負債合計 | 2,127 | 3,260 |
| 負債合計 | 29,220 | 28,613 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,577 | 12,577 |
| 資本剰余金 | 12,815 | 12,820 |
| 利益剰余金 | 57,630 | 60,420 |
| 自己株式 | △6,052 | △11,267 |
| 株主資本合計 | 76,972 | 74,551 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 386 | 399 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,609 | 6,604 |
| 為替換算調整勘定 | 1,004 | 2,370 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 183 | △27 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,182 | 9,346 |
| 新株予約権 | 228 | 200 |
| 非支配株主持分 | 18 | 18 |
| 純資産合計 | 81,401 | 84,117 |
| 負債純資産合計 | 110,621 | 112,731 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 51,659 | 51,669 |
| 売上原価 | 31,877 | 32,319 |
| 売上総利益 | 19,781 | 19,349 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,792 | 13,294 |
| 営業利益 | 6,989 | 6,055 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 71 |
| 受取配当金 | 32 | 33 |
| 仕入割引 | 0 | 1 |
| その他 | 15 | 22 |
| 営業外収益合計 | 56 | 128 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5 | 0 |
| 為替差損 | 10 | 49 |
| 自己株式取得費用 | — | 19 |
| その他 | 4 | 3 |
| 営業外費用合計 | 20 | 73 |
| 経常利益 | 7,025 | 6,110 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | — |
| 新株予約権戻入益 | — | 31 |
| 退職給付制度終了益 | — | 91 |
| 特別利益合計 | 2 | 123 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 15 | 27 |
| 減損損失 | 225 | — |
| その他 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 241 | 27 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,786 | 6,206 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,756 | 1,805 |
| 法人税等調整額 | 289 | 31 |
| 法人税等合計 | 2,046 | 1,837 |
| 四半期純利益 | 4,740 | 4,369 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △0 | △1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,740 | 4,371 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 4,740 | 4,369 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △29 | 12 |
| 繰延ヘッジ損益 | △20 | 3,995 |
| 為替換算調整勘定 | 82 | 1,368 |
| 退職給付に係る調整額 | △1 | △210 |
| その他の包括利益合計 | 30 | 5,165 |
| 四半期包括利益 | 4,770 | 9,535 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,770 | 9,534 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,786 | 6,206 |
| 減価償却費 | 867 | 1,166 |
| のれん償却額 | 39 | 38 |
| 受取利息及び受取配当金 | △40 | △104 |
| 支払利息 | 5 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 3,370 | 2,214 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △2,193 | △2,985 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,127 | △1,450 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △234 | △275 |
| その他 | △1,724 | △1,459 |
| 小計 | 5,748 | 3,349 |
| 利息及び配当金の受取額 | 40 | 104 |
| 利息の支払額 | △5 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △2,452 | △1,943 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,331 | 1,510 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △671 | △68 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △684 | △4,146 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 5 | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △213 | △265 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △12 | △12 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 88 | — |
| その他 | △87 | △4 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,575 | △4,496 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △100 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △742 | — |
| 配当金の支払額 | △1,639 | △1,581 |
| 自己株式の処分による収入 | 71 | 9 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △5,239 |
| 自己株式の取得のための預け金の増減額(△は増加) | △5,000 | 5,240 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △7,410 | △1,570 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 25 | 803 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △5,629 | △3,753 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 51,873 | 42,082 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 46,244 | 38,329 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年8月20日開催の取締役会決議及び2022年2月8日開催の取締役会における一部変更決議に基づき、自己株式3,328,800株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が5,239百万円増加したこと等により、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が11,267百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について、当第2四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

当社グループの事業は、パソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

当社グループの事業は、パソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。